

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
相談援助実習指導 I Guidance in Fieldwork of social welfare I		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(社会福祉士国家試験受験資格取得必修)	他フィールド履修不可
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
社会福祉士受験資格指定科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
社会福祉士受験資格指定科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
中島 佳子	栄養棟3階	月曜～木曜の授業以外の時間		授業中に指示します
授業の概要				
相談援助実習の意義や目的を理解した上で、実習前に学ばなければならない内容を整理する。さまざまな施設や機関の現状を学習し、さらに社会人としての常識(身だしなみ・マナー)を身につけ、夏期休業中の見学・体験学習へと結びつける。				
授業の目標				
①実際に実習を行う実習分野(利用者理解)と施設・事業者・機関・団体・地域社会等に関する基本的な理解を深める。 ②実習における個人のプライバシーの保護と守秘義務の理解(個人情報保護の理解を含む)。 ③社会人としての常識・権利・義務について理解する。 ④現場体験学習の実施。				
授業の方法				
講義および演習。課題作成等。				
学習の成果(学習成果)				
①実習分野と施設・事業者・機関・団体・地域社会について体系的に理解することができる。 ②社会福祉援助職として利用者及び関係者の個人のプライバシーの保護と秘密を保持を順守できる。 ③社会人としてのふるまいを身につけることができる。 ④現場体験学習の目的の理解と計画を作成することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス(授業の目標や方法、成績評価方法について説明) 課題1「大栗の里を見学して」 短大(2年間)での学び(授業の構成、短大での学び方、ノートの取り方、レポートの書き方等)			
第2回目	コミュニケーショントレーニング 課題2「コミュニケーショントレーニングの振り返り」			
第3回目	相談援助実習指導と相談援助実習について			
第4回目	DVD「あなたの笑顔がみたい!ソーシャルワーカーの仕事」 課題3「社会福祉士のイメージについて」			
第5回目	図書館にて図書館利用方法について、文献・資料の集め方と使い方			
第6回目	社会福祉フィールドの広告作成 課題4「広告」			

第7回目	ボランティア活動の意義 課題5「ボランティア活動の実際」	
第8回目	課題5「ボランティア活動の実際」発表、社会福祉施設・事業の理解① 課題6「居住地の社会福祉施設・事業について」	
第9回目	社会福祉施設・事業の理解②	
第10回目	社会福祉施設・事業の理解③	
第11回目	社会福祉施設・事業の理解④ 課題6「居住地の社会福祉施設・事業について」発表	
第12回目	施設・機関におけるマナー①(身だしなみ、言葉遣い、自己紹介の仕方等)	
第13回目	施設・機関におけるマナー②(報告・連絡・相談等、電話のかけ方)	
第14回目	実習施設希望調査1回目、施設情報の集め方	
第15回目	夏期休業中の見学・体験学習について、夏期休業中の過ごし方	
成績評価の方法と基準		
	評価の領域	割合
授業参加態度	20%	以下の視点で評価する。教科書等の準備をして授業に臨んでいる。演習に意欲的に参加している。他者の発表を聴いたり意見や感想を述べ学び合うことができている。
レポート	70%	S評価の基準:提出期限、指定の様式を守り、誤字脱字がなく、自分の意見を含めたレポートであること。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容(態度含む)	10%	内容を十分に理解し、しっかりと準備をして、発表に臨んでいる。
その他		
教科書と参考図書		
教科書: ミネルヴァ社会福祉士養成テキストブック「相談援助実習」川延宗之他/ミネルヴァ書房 「社会福祉小六法」/ミネルヴァ書房		
履修上の留意点・ルール		
欠席をした場合は、内容をクラスメイトに確認し、書類や課題は次回授業までに担当教員まで取りに来ること。		